



# やわらぎ会通信 Vol.73

新しい制服を見ると、こちらまで身が引き締まる思いがします。あの頃の感動を思い出して、新しいことを始めたいと思う4月です。皆様にとって、希望の春でありますように。



## 三浦敬三メモリアルティネ大滑走2009

三浦敬三メモリアルティネ大滑走2009に参加しました。

私の尊敬する、三浦雄一郎氏のお父さんの敬三先生は2006年1月5日に101歳で亡くなりましたが、100歳を超えても現役のスキーヤーとしてスキーを楽しんでおられました。敬三先生がいつも滑っておられたティネ山の頂上から麓までの6kmのコースでダウンヒルスキー & スノーボードレースが行われました。

私はミウラドルフィンズクラブのメンバーの皆さんと参加しました。三浦雄一郎氏は今回都合がつかなくて一緒に滑れなかったのですが、息子の豪太さんと今回エベレスト登頂に成功した、五十嵐さんと同行して頂きました。レースは2月22日に行われましたが、前日の吹雪がうそのようにおさまり無事時間通りに行われました。



メンバーの皆さん

私は90歳まで現役の歯医者をするを目標としていますが、今回のミウラドルフィンズのメンバーの中に何と86歳の青森の現役の歯医者さんである斉藤先生が参加されていたのは驚きました。斉藤先生は「敬三先生までにはまだ13年ある。」と言われていましたが、タイムレースではないものの頂上から同じようにスタートしてみごとゴールされました。私は9分32秒08のタイムで男性スキーの部で90人中80番目の成績でした。



スタート前



皆さんとゴール

私は今回、86歳の現役のスキーをする歯医者さんに出会えた事で私の「90歳まで現役の歯医者」という目標達成への決意を新たにしました次第です

理事長 藤田和也

## Photoギャラリー



豪太さんと斉藤先生



斉藤先生と



## 心に残る一冊

皆さんは「心に残る一冊」ってありますか？

私はもともと本が好きで、特に小、中学校の頃は探偵物、推理物が大好きで図書館の本を片っ端から読んでいるような子供でした。そんな私が本の虜になるきっかけを作ってくれた本、それは『二年間の休暇』という本でした。その本との出会いは移動図書館でした。



次に車がやってくる2週間後までに読めるような本を手にとった本は厚さが5cm位あり、字も小さくしかも2段になっていて難しいイメージでした。しかし！！その本は予想をはるかに超えて面白く、私は次が早く読みたくてたまらず夜も布団に潜って夢中で読み続け、ついに読破したのです。嵐の中、少年たちが乗った船が遭難し、無人島に辿り着く。そこから二年間の少年たちのサバイバル生活が始まる…。そう、それは『十五少年漂流記』だったのです。それと気付いたのは大人になってからのことでした。

あれから何十年も経ちましたが、あの時のワクワクした思いは忘れられません。そして2冊目の運命の出会いを求めて今も、これからも本を読み続けていきたいと思っています。

歯科衛生士 加藤

同封していますレセプト(保険診療の明細)のコピーは、当診療で保険診療をお受けになったものです。自由診療のみの方には同封されていません。患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。 メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成21年 3月20日号  
編集発行人 藤田 和也